

# 競技概要(決勝)

- 【競技方法】 ・36ホールストロークプレー(予選カット無し)
- 【順位】 36ホール終了後、1位にタイがあった場合は競技委員会の指定するホールにおいて、ホールバイホールのプレーオフを行い、優勝者を決定する。
- 【使用ティ】 ・男子プロ・研修生、男子アマは**バックティ(青)**使用  
・男子シニア(満50歳以上)は**レギュラーティ(白)**使用  
・女子は**フロントティ(緑)**使用
- 【使用球】 決勝大会において競技者(プロ、アマ問わず)の使用球は、公認球で同一銘柄同一種類の球でなければならない。
- 【その他】 ・距離計測機の使用を可能とする(GPS機能及び、高低差機能付きは不可とする)  
・コース内での携帯電話の使用を禁止とする。
- 【競技規則】 ・アウト・オブ・バウンズの境界は、白杭をもって標示とする。  
・修理地の区域は、青杭または白線をもってその限界を標示する。  
・ラテラル・ウォーター・ハザードは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する  
  
・排水溝、樹木の支柱、球止めおよび防護ネット、U字溝、生垣を除く垣根、舗装された道路等は、動かせない障害物とする。  
  
・樹木保護の為に巻物施設は、樹木の一部とみなす。ただし樹木の巻物施設に球が挟まった場合は、罰なしに球を取り上げて(取り戻せない場合は別の球で)その球の真下の地点から 1クラブレングス以内で、かつホールに近づかない箇所にドロップすることができる。(拾い上げた球はふくことができる)  
  
・スルー・ザ・グリーンにおいて、球がその勢いで自ら地面に作った穴(ピッチマーク)に食い込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げて拭き、ホールに近づかず、その球のあった箇所にできるだけ近いところにドロップすることができる。ドロップの際、球はスルー・ザ・グリーンのコース上に直接落ちなければならない。  
  
・ホールとホールの間では、練習ストロークをしてはならない。ただし、ハーフターン時のパッティング練習のみ認める(練習場及びアプローチ練習は禁止)  
  
・プレー中にて処置について疑問がある場合は2つの球をプレーしてそのホールを終えることができる。その際スコアカードを提出する前に、競技委員に報告しなければならない。  
  
・1ペナルティ区域(黄色×黒杭)内はそのままプレー続行とする。  
  
・その他は、(公財)日本ゴルフ協会ゴルフ規則、(公社)日本プロゴルフ協会競技の条件及びローカルルールを適用する。

